

 評価のポイント

CL-Ⅱ. ニーズを捉える力（精神科）

〔7-2〕 精神力動的理解の基本/精神力動的理解を用いた事例の展開

①この患者さんの受け持ちになったとき、展開してきた精神力動的なアセスメントを踏まえて、初期計画として具体的な看護目標を1つあげてください。

出題の意図：患者を精神力動的に理解することは、患者の表面的な症状だけでなく、その背後にある無意識的な動機や感情、過去の経験を理解することができます。患者の行動や思考のパターンをより深く理解し、個別化されたケアを提供することができます。根本的な原因にアプローチすることで、長期的な改善を目指すことができます。患者が自分の問題の本質を理解することで、再発防止や自己管理能力の向上につながります。

解答例：以下のような目標を期待しています。

長期目標

1. 患者が自分の強みと弱みを受け入れ、自己肯定感を高めることができる。
2. 完璧主義を緩和し、自己に対する期待を現実的なものに調整することができる。患者がストレスに対処するための効果的な方法を見つけ、持続的に実践することができる。

短期目標

1. 患者が自分の感情や考えを認識し、言語化できるようになる。
2. 患者がストレスのサインを早期に認識し、効果的なコーピングスキルを学ぶことができる。
3. 患者が達成可能な短期的目標を設定し、その達成感を味わうことで自己効力感を高めることができる。
4. 患者が現実と理想の自己像の違いを理解し、現実的な自己評価を持つことができる

② また、その看護目標を踏まえて、具体的な実践計画について話し合ってみましょう。

解答例

信頼関係の構築、心理教育の提供、感情の認識と表現の支援、ストレスマネジメントとコーピングスキルの向上、社会的サポートの強化、現実的な目標設定と計画の支援、服薬指導と治療の継続支援、自己評価と自己理解の促進などに関する具体的な実践計画を考えられることを期待しています。